



金山町議会だより

第232号

令和8年2月12日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341

〔12月定例会（12月5日～9日）〕

- ・新年のあいさつ……………2
- ・補正予算・議案審議等……………3
- ・一般質問 6人が登壇……………4
- ・臨時会、お知らせ……………11



金山町議会議員集合写真

新年を迎えて

令和8年が皆様にとって、素晴らしい一年になることを心からお祈り申し上げます。

また、金山町議会全員で、金山町民の活気ある生活のお力添えができるよう、日々精進して参ります。

少子高齢化の金山町ではありますが、若手が多い金山町議会において議会改革をドンドンして参りますので、皆様方からの多くのご意見をいただければうれしい限りです。町民みなで新しい金山町を創っていきましょう。

(坂内 譲議員)

昨年、娘が誕生し、町の未来をより強く想うようになりました。大好きな金山町を次世代につなぐため、若者視点で活気あるまちづくりに邁進いたします。

また、議会をより身近に感じていただけるよう広報活動にも注力します。市町村対抗野球も良い結果を報告できるよう精進いたします。本年もよろしく願いいたします。

(大竹一樹議員)

今年の私の抱負は「鵬程万里」です。伝説の巨鳥が遙か彼方の海を目指して羽ばたくように、金山町の未来もまた、大きな可能性に満ちたものであると確信しています。

人口減少や地域経済の課題など、私たちの前途には険しい道のりもありますが、目先の事象に捉われることなく、10年、20年先を見据えた大局的な視点を持って、町の持続可能な発展のために尽力してまいります。

(安藤雅朗議員)

お年寄りの笑顔と子供の歓声が響く町へ。現場に寄り添い、安心の福祉と希望の子育てを全力で支えます。

(加藤夕子議員)

志を立てましょう。志を立てるに老いも若きもなく、志のあるところ、道は開けると信じたいと思っております。

(横田正敏副議長)

令和8年金山町議会をよろしくお願いいたします。議会では「開かれた議会」を目指し町民の声を町政に届けたいと考えています。

・「おらほの議員としゃべってみませんかの会」
・「議会への手紙」の取り組みをしています。
詳しくは議会だよりをご覧ください。町民の皆様ご意見・提言をお待ちしております。

(五ノ井義一議長)

皆様、あけましておめでとうございます。
「丙午」の今年は、情熱や変化を象徴する年とされ、「活気ある年」「経済が好転する年」とも言われます。

議会運営委員会委員長として、町民の皆様にかれた議会運営を目指し、皆様の期待に応えられるよう努めてまいります。

(栗城康太郎議員)

12月定例会

12月定例会は、12月5日から9日の5日間開催され、一般会計補正予算・条例の改正・指定管理者の指定など12議案、議員提出議案3件が提案され、原案の通り可決されました。

一般質問は、6人の議員により行われました。

条例改正

〔審議結果一覧の期末手当・職員給料に関する〕

問 期末手当・給与の引き上げなど人件費の経常収支比率の上昇、つまり財政の硬直化が懸念される。来年度以降の見通しは。

答 総務課長 令和6年度決算における経常収支比率は80.8%。100に近いほど財政が硬直化して弾力性のない財政状況になるが、まだ若干の余裕がある。総人件費の抑制などにより十分考慮していく。

〔経常収支比率〕とは『毎年確実に見込める収入』のうち、何%を『毎年必要な経費』に充ててい

るかを示す数値。市区町村の場合75%を下回るのが望ましいとされているが、令和4年度市区町村の平均値は92.2%。当町は他町村に比べ比較的弾力性が高いといえる。

補正予算（議案審議）

一般会計・歳出

文化財等保存活用業務

問 委託料21万3千円。具体的な内容は。

答 教育次長 過去に調査した宮崎遺跡の活用事業で、調査を深め、今後県の重要文化財指定に向けて取り組んでいる。

問 県の重要文化財登録後の利活用について。

答 教育次長 令和8年

度以降の指定を目指し県の担当課に調書をあげている。文化財を通し、子ども達や住民が地域に誇りを持つような利活用を考えている。



「こぶし館」に展示の宮崎遺跡

大芦線バス運行

問 負担金32万6千円。来年9月で廃止予定。代替運行の考えはないのか。

答 総務課長 令和8年9月末で会津バスが撤退。現在川口、昭和村大芦間3往復運行。代替運行の考えは現在ない。乗合タクシーでカバーできる。

問 有害鳥獣駆除報償費

答 報償費195万円。駆除の内訳は。

答 農林課長 11月21日現在で熊75頭、猪7頭、シカ1頭、カワウ5羽。

社会福祉総務費除雪対策事業

問 除雪対策事業100万円。詳細について。

答 保健福祉課長 社会福祉協議会実施の高齢者及び母子世帯等除雪等に対する除雪単価のアップ分。手掘り単価が3割ほど、その他機械等、屋根の雪下ろしなど業者支払い分の見直しになる。

指定管理者の指定

問 町長は、指定管理者選考委員会の意見を聞いて2期10年間の実績のある現在の受託者をやめ、新たな団体を指定管理者とした決め手は何か。

答 町長 選考委員会の答申を尊重して、今回提案した。新しい業者を我々も応援しながら育てていくことも大事である。



温泉が好評の「せせらぎ荘」

議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）
※賛成[○] 反対[X]

件名	議決結果	大竹一樹	安藤雅朗	加藤夕子	坂内讓	栗城康太郎	横田正敏	五ノ井義一
■第7回定例会（12月定例会） 令和7年12月5日～9日開催								
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について（福島県人事委員会の勧告に準拠し改正）（期末手当：0.05月/年引上げ）	可決	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません
職員の給与に関する条例及び金山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について（福島県人事委員会の勧告に準拠し改正）（職員給料：平均2.97%引上げ 期末勤勉手当：0.05月引上げ）	可決	○	○	○	○	○	○	
令和7年度金山町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	
指定管理者の指定について（町温泉保養施設「せせらぎ荘」及び玉梨温泉共同浴場）（指定期間：令和8年4月1日から5年間）（指定管理者：企業組合おく愛ズ）	可決	○	○	○	○	○	○	

一 般 質 問

6 人の議員が登壇

順 番	議 席 番 号	氏 名	質 問 事 項
1 5ページ	3	安藤 雅 朗	令和8年度予算編成における重点施策と町の未来像について
2 6ページ	6	坂内 讓	観光政策に対して2期8年の自己評価は
3 7ページ	7	栗城 康太郎	鳥獣被害対策の推進について
			高用量インフルエンザワクチンの定期接種について
4 8ページ	8	横田 正 敏	町独自の物価高騰対策を（紙面の都合上未掲載）
			小規模事業者の事業承継に対し町はどう取り組むか
			只見川河川敷の樹木の伐採について
5 9ページ	5	加藤 夕 子	物価高騰対策における支援策の多角化と水道料金減免の可能性について
			横田保育所の今後について（紙面の都合上未掲載）
			屋内遊具施設設置について
6 10ページ	1	大竹 一 樹	只見線のポテンシャルを生かそう
			有害鳥獣とどう向き合っていくか

◆一般質問とは…各議員が本会議で町の一般事務や町の将来に対する方針などについて質問することをいいます。

※一般質問は「一問一答方式」により行います

質問者一人に対し質問・答弁の時間は50分以内としております。

議会会議録・一般質問動画(録画) 町公式ホームページ掲載のお知らせ



↑会議録は
こちらから



↑動画配信は
こちらから

議会会議録 について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。ホームページには全文記載されています。是非、ご覧ください。

(金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#) [令和7年議会会議録](#)

一般質問の動 画配信(録画) について

各議員(質問者)ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。

(金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#) [令和7年一般質問](#)



令和8年度予算編成における重点施策と町の未来像について

一番は担い手不足——町長

問① 予算編成の基本姿勢について。町の最重要課題は何だと考えているか。

答 町長 一番は少子高齢化に伴う担い手不足。あとは町内事業者、産業をいかに持続・継続させるかに尽きる。

問② 第3期総合戦略では、2050年に人口1,000人を維持する目標を掲げ、年間出生数8人

以上を目指している。しかし、過去5年間の平均はわずか4人であり、目標の半分に過ぎない。これまでの方針が「的外れ」であった可能性はないか。検証委員会の評価も低いなか、どのように効果検証を行い、予算に反映させるのか。

答 町長 目標に実績が追いついていない点は反省すべき点だ。これまでの結婚対策事業などが期待ほど参加者を得られず、行政側の働きかけも不足していた。今後は「ふるさと住民登録制度」などの関係人口施策に加え、若者が自主的に集まれる「きっかけ作り」に取り組みたい。

問③ 物価高騰は家計を圧迫しており、対策にはスピードが求められる。国からの交付金を待つだけでなく、町が保有する約13億円の財政調整基金を取り崩し、町独自の施策をスピーディーに実施する考えはないか。

答 町長 現在、25%のプレミアム付商品券や灯

休所中の横田保育所の再開について、対象家庭への説明が不十分ではないか。

答 町長 横田保育所については保育士確保ができず、来年度の再開は現段階で困難だが、希望家庭には改めて丁寧な説明の場を持ちたい。我々の仕事は町民へのサービス業であり、福祉の向上だ。町長自ら保育所へ赴き、現場の職員に直接、町の現状と保育の重要性を説き、意識改革を促している。

問④ 限られた財源で新施策を打つには、前例踏襲を打破しなければならぬ。新しい取り組みに挑戦する職員を評価する「加点式」の人事評価を導入すべきではないか。

答 総務課長 新たな事業のために既存事業を廃止し、「スクラップ&ビルド」の定着を職員に促している。事業開始時にあらかじめ廃止年度を定めるなどの工夫を検討したい。人事評価についても、現在の目標管理制度が定着した段階で、挑戦を後押しするプラスアル

油助成を実施しており、一定の支援は行っている。国の補正予算の内容が判明次第、臨時議会を開いても迅速に対応したい。来年度予算においても、現在の厳しい社会情勢を鑑み、25%のプレミアム率を維持した商品券発行を継続する計画だ。

問⑤ 現在の施設規模を維持し続けることは将来の世代に大きな負担を強いる「負の遺産」になりかねない。他自治体のように、住民との懇談会を通じて統廃合や解体も含めた抜本的な議論を今すぐ始めるべきではないか。

答 町長 公共施設の整理統合は避けて通れない課題だ。単に壊すのではなく、民間への所有権移転など、維持管理の義務も含めて譲渡する手法も模索したい。過去の事例を反省材料とし、修繕コストと利活用の見直しを天秤にかけ、より踏み込んだ具体的な検討を進めていく。

議員の一言

人口1,000人達成に向けた戦略的予算配分と挑戦する組織の構築を！



国の制度を活用し担い手確保と移住者獲得を両立している「奥会津金山福業協同組合」（通称「金福」）
金福定例会（古民家の宿：玉梨常楽にて）



ばん ない ゆずる
坂内 議員の

一般質問

観光政策に対して2期8年の自己評価は

観光といっても幅広い捉え方がある――町長

押部町政2期8年がまもなく満了を迎える中、持続可能な観光地域づくりに向けた今後の戦略について、町長の考えを伺う。

問① 8年間の観光政策の総括と自己評価は。

答 町長 只見線での観光客に、2次交通の確保策として観光タクシーやレンタサイクル事業を行ったが町内を巡るお客様

は少ないと感じている。また、宿泊施設不足に対応するため、おもてなし事業を実施し、受入人数の増加に一定の効果はあったが、まだ充分とは言えない状況です。

問② 地域資源の活用と課題は。

答 町長 沼沢湖や天然炭酸水、霧幻峡、只見線など、様々な観光資源があるにも関わらず、入り込み客数はそれほど伸びていない。今後は、国道289号八十里越の開通や、白河市等との広域連携などでも予定されており、新潟方面や北関東方面へのPRも進めたいと考えている。

問③ 金山町が考えるタ―ゲット層は。

答 町長 主に時間的、経済的に余裕のあるアクティブな高齢者を考えている。ただし、夏の沼沢湖やスキー場には、子ども連れのファミリー層、只見線にはインバウンドと場所や時期により多様化するものと思っている。

問⑤ 観光推進することでの地域住民との調和について。

答 町長 たいへん大切なことと理解している。只見線を臨時列車が運行する際の道路状況や、入浴施設等でのマナーなど、いつもと違うことが町民にとってはどうしてもストレスに感じるかもしれない。ただ、観光客の来訪により、町が賑やかになり、町が賑やかになることは確かです。観光業の方々だけでなく町民にも理解を得られるよう働きかけていく。

問⑦ 今後の観光戦略とそれに合わせた財源確保は。

答 町長 来年のふくしまディスプレイネーションキャンペーンや八十里越開通の機会を捉え、効率的なPRを検討している。その財源確保は、国・県・民間団体等の制度を活用し、各方面への働きかけを進め、情報の収集に努めていく。

問 地域の温泉が高齢化によって地域だけでは守れなくなることがこれから心配されます。町長の考えは。

答 町長 それぞれの温

問④ 観光インフラとしても期待している観光DXの取り組み状況は。

答 町長 観光客の買い物に対応するため、キャッシュレス決済を行う商店が増えており、今後普及と多角化に期待している。

問⑥ 地方観光を考える上での人材育成について。(観光アドバイザー含め)

答 町長 町では今年度から観光プロデューサーとしてJR東日本OBの方を迎え、会津川口駅前での再開発や総合的な観光についてのアドバイスを

議員の一言
金山だからこそできる事業を積極的に



国道289号八十里越開通を見据え設置した案内看板(只見町入叶津地内)新潟方面からの入り込み客が期待されます



鳥獣被害対策の推進について

人身事故の発生を未然に防止するため、関係機関と連携していくー町長

近年、ツキノワグマ、イノシシ、ニホンザル等の生息域の拡大、過疎化や高齢化の進展による耕作放棄地等の増加に伴い有害鳥獣による農作物等への被害が深刻化している。特に本年はクマによる人身被害が深刻化しており、当町においても10月29日に人身被害が発生した。

被害を抑えるには、増えすぎた鳥獣の個体数を

狩猟などを通じて適正化したり、生息地域を限定したりするなどの対策が求められている。

問① 住民の安心・安全の確保が一番大切と考えるが、クマの被害防止のための具体的対策は。

答 町長 集落内の放任果樹の伐採を継続的に進めるとともに、打上花火

問② 人の日常生活圏にクマ等が出没した場合に地域住民の安全確保のもとで、銃猟を可能とする緊急銃猟制度が施行されました。当町における対応マニュアルの作成状況

答 町長 今年度中にマニュアルを作成して、新年度からは緊急銃猟に対応する考えです。

緊急銃猟で対応する範囲については、山林間際に住宅地があるということもあるのですが、その対応についてもしっかりと検討して、マニュアル作り

に臨んでいく。

金山町有害鳥獣捕獲隊の構成人数と年齢構成 (11/25 現在)		
A	90代	銃・銃ラ・罾
B	80代	罾
C	70代	銃 罾
D	60代	罾
E	60代	罾
F	60代	罾 銃

(町提出資料)

高用量インフルエンザワクチンの定期接種について

国等の動向を踏まえ対応して参りたいー町長

厚生労働省は、従来型ワクチンより高い効果が見込まれる高用量インフルエンザワクチンについて75歳以上を対象として公費の助成を受けられる定期接種に位置付ける方針を決めた。

問① 県下一高齢化が進んでいる当町には多くの接種対象者がおられます

問② 65歳以上でも高い効果があるというデータが発表されている。年齢制限を65歳以上とした場合でも現状のインフルエンザワクチンの接種費用と大きな差はないと思うが、65歳から74歳についても公費負担とする考えはないか。

町長 今の時点で、そこまでの考えは持っていませんでしたので、ご提案を受けたということでご理解いただきたい。

熊を寄せ付けない環境整備の一つ
緩衝帯整備(玉梨地内)



議員の一言
住民の安心・安全の確保が一番大切



土砂が堆積している
只見川沿い越川地区の大川地内右岸側

よこ た ま さ と し
横田正敏議員の

一般質問



小規模事業者の事業承継に対し町はどの取り組みか

事業者の個別状況に応じた対応策を――町長

町の経済活性化のために、雇用を支えている小規模事業者の円滑な事業承継を推進していくことが重要である。町としてどう取り組むか考えを伺う。

答 町長 町では「金山町小規模企業振興基本条例」を定めており、主に商品券発行や融資等の経済的支援や起業促進に力を入れてきた。町の現状

として、少子高齢化が進み、減少する人口に対し、小規模事業者は、経営の維持のみならず後継者問題という大きな課題に直面しています。福島県でも事業承継について商工会と連携しながら、各事業者の個別の状況に応じた対応策を研究していきたい。

問 提案ですが、町は地域おこし協力隊とか移住支援に積極的に取り組ん

でいます。協力隊として3年間、商売に携わってみれば承継もできるので、こういった流れを一つでも二つでも成功事例をつくっていただきたい。移住政策と事業承継を結びつけることはできないのかと思うが。

議員のひと言
長年地域で育まれてきた事業をしっかりとつないでほしい

只見川河川敷の樹木の伐採について

関係機関に要望している――町長

河川敷の樹木は、過剰繁茂による水位上昇や洪水時に悪影響を及ぼしたり、不法投棄が助長されたり、動物の隠れ場所となっている。樹木の伐採について、町から関係機関への働きかけの考えを伺う。

答 町長 只見川の河川敷には、河川管理者や東北電力(株)の管理が行き届いていない箇所が多数見受けられます。町では、沿川区長からの聞き取り

調査を基に、過去の伐採からの経過年数や繁茂状況を勘案し、只見川洪水対策情報連絡協議会を介して樹木の伐採を要望している。

河川沿いがツキノワグマの潜む場となり、生活圏が脅かされています。沿川複数の区長からも、河川敷の草刈りの要望が今年度から新たに上げられています。今後、土地

所有者には河川敷の草刈りを含めて、適正に管理

することを強く要望します。不法投棄の助長や水位上昇時の悪影響なども引き続き訴え、町民や町外から訪れる観光客も安全に、金山町のすばらしい景観を楽しめるように努めて行きます。

問 秋から2月までは浚渫工事で、本名ダムの貯水池で3万5千m³から4万m³の堆砂処理をしています。数字の見える化を毎年しっかりやっている。

答 町長 場所によっては伐採すればしばらくは大丈夫。本線から外れた分の除去作業部分についても、実施量を報告いただけるよう関係機関に話をします。



物価高高騰対策における支援策の多角化と水道料金減免の可能性について

水道料金減免は課題が多いー町長

問① 住民支援策としてのプレミアム付商品券を主とした理由。地域経済への効果。住民生活への支援効果についての評価は。

答 町長 商品券の発行は20年近く続く事業です。理由ですが、地域経済の活性化対策と物価高騰における町民の生活支援の両面を狙えることでもあります。また、その効果は町内で経済を循環させる

という目的を一定程度果たしているものと評価している。

基本料金の一定期間減免策の考えは。

答 町長 物価高騰対策として、水道料金の減免

方法として検討し実施に至らなかった経過があります。

近隣町村では、水道料金システムの改修の必要から、来年7月実施の町村も有り、町民の生活支援に素早く対応できることのメリットが失われる

問② 水道料金の基本料金減免を実施する考えはないか。全世帯・全住民に対し公平かつ確実に生活負担の軽減を図れる、

の観点から実施の検討をしているが、解決しなければならぬ課題が多く、

今まで国の交付金の活用

可能性もありません。また、減免額相当分について国からの交付金を充当することになるが、水道事業への国からの補助金の一部返還の可能性もある。

屋内遊具施設設置について

必要とは感じているー町長

問① 町内の屋内遊具施設が不足しているという

す。

現状について町の認識は。

ごつつおまつりの際、町民体育館に巨大エア遊具を設置した。2日目は、

答 町長 屋内で体を動かせる施設として、町民

特に雨の中の開催だったので、町内外の子ども

体育館やその他屋内体育施設、開発センター、ゆ

たちが、我さきに遊ぶ姿を見て、天候に左右され

うゆう館等も十分な施設であると思う。ただ本格

ないこのような施設の存在も必要と感じたところ

的な屋内遊具施設については町内に存在せず、子

育で世代の保護者から「近隣の屋内遊具施設で

遊んできました」などの話を聞くとときがありま

問② 休所中の横田保育所など町の遊休施設を活用した「全天候型キッズ

パーク」整備の考えはないか。子育て世帯の定住促進、冬季の交流人口の増加にも繋がる政策と

思

う。

答 町長 横田保育所の活用を提案いただき、大変貴重なご意見ありがとうございます。

議員のひと言

中川地区に子どもの遊び場ができました。次は、冬でも遊べる屋内の遊具施設(キッズパーク)を!



(写真左上)屋外の子どもの遊び場(道の駅周辺)
天候に左右されず安全に遊べる、屋内型遊具施設を望む声が強くあります(写真はボールプールと滑り台)



おお たけ かず き
大竹一樹議員の

一般質問

只見線のポテンシャルを生かそう

地域に賑わいをもたらす只見線を目指すー町長

問 観光の機会損失防止や町民の生活維持のために、只見線の冬期運行に對しどのように考えていくか。

答 町長 只見線の運休期間中も、除雪体制の充実や代行バス運行について要望していた。これからも東日本旅客鉄道各支社や福島県に對して、沿線市町村が協力し、冬期間の安定した運行を求め

る。

問 運休時は県などの対応も必要になるが、スピード感も必要であると考え。町内民間事業者と協力して町民の輸送を行うことはどうか。

答 町長 町が組み立てて作った場合、実際に運行していただける事業所が車両や人材を確保できるのか心配。具体的な部

分については、今後の検討課題。

問 来年度は「ふくしまディスプレイネーションキャンペーン」が行われるため、この機会を生かして金山町の知名度を広めたいが、どのようにプロモーションしていくか。

答 町長 町ではこの期間(令和8年4月～6月)に合わせ、観光プロデュ

ーサー発案「春のごっつおまつり」を開催し、只見線の団体臨時列車やツアー催行が計画されている。この機会に只見線及び町の魅力を全国に発信して参りたい。

問 来年度予算で観光プロデュースーサー中心のプロジェクトを、企画費等も含めて委託できないか。

答 町長 川口 商工観光課長

駅前再開発等の会議やJR東日本との繋ぎなどしていただいているので、プロジェクトとして時間が取れるか含め本人と相談し検討していく。

議員のひとこと
マイルール意識で只見線を活用していこう！

有害鳥獣とどう向き合っていくか

猟友会の意向を大切にー町長

中長期的な視点から有害鳥獣対策を充実させ、町民の安心安全を確保していくことが急務と考える。

問 狩猟者資格取得支援事業補助金は交付対象者が有害鳥獣捕獲従事者となっているが、町として狩猟者を増やしたい考えなら補助要綱の見直しが必要ではないか。

今年度は全国的に熊の目撃、被害が多数あった有害鳥獣捕獲は心身ともに厳しい業務今後の担い手を確保し、町民の安心安全を守れるか

答 農林課長 狩猟というのはあくまで趣味。捕獲隊に任命されれば補助金交付対象者となる。十分な検討が必要。

問 狩猟免許所持者で捕獲隊に入っていない方がいるが、捕獲隊を結成する猟友会との協議はどのように進めているのか。

答 農林課長 人数的には現在の体制で十分だと

会議で話が出ている。誰かが欠けた段階で捕獲隊に推薦されるといった形になると認識している。

問 捕獲隊も高齢の方が多い。今後、今年のように熊がたくさん出た際に対応できるのか疑問。人員編成を考えたい。捕獲隊は町で組織するものだが、町長は関係者とのような話し合いをしてい

答 町長 協議会の中で話をしている。猟友会という組織抜きには有害鳥獣対策はできないので、どうしても猟友会の意向を大切にしなければならぬ。信頼関係を常に持つておくことが大事。

るのか。

今回の補正は、食料品高騰など物価高騰対応のため臨時的に給付を行うもの。

臨時会では、一般会計補正予算で物価高対応の交付金事業費が可決されました。

12月25日第8回臨時会

事業名	給付内容	事業費(万円)
食料品高騰対応町民生活応援臨時給付金	町内に住所を有する町民（基準日：令和7年12月1日）の属する世帯主に世帯員分の給付金（現金）を支給 ・町民一人当たり 一律 30,000円 支給開始時期 令和8年2月 問合せ先：保健福祉課	5,124
物価高対応子育て応援手当給付金	児童手当支給対象児童（令和7年9月30日時点）を養育する父母等に支給（令和7年10月1日以降、令和8年3月31日までに生まれる新生児も含む。） ・子ども一人当たり 一律 20,000円 支給開始時期 令和8年3月 問合せ先：保健福祉課	210
物価高騰等社会福祉施設支援給付金	町にある介護施設（グループホームかねやま、特養かねやまホーム）への支援 ・入所定員×20,000円 支給時期 令和8年3月 問合せ先：保健福祉課	178

議員との懇談会「おらほの議員としゃべってみませんか」開催しませんか

金山町議会議員は、令和5年12月に改選されました。

7名(欠員1名)の議員の当選回数も1～2回と少なく、議員の平均年齢も54歳と「フレッシュ」な議会となっています。

そこで ・高齢化率の高い町での町づくり、地域づくり ・若者が少ない町での町づくり、地域づくり
・持続可能な町づくり、地域づくり ・日頃考えている提案、アイデア などについて

地区の皆さんからのご意見、ご要望をお聞きするため、地区に出向いて「おらほの議員としゃべってみませんか」の開催を計画いたしました。今年度は行政区単位の開催となります。開催を希望される地区の行政区長は金山町議会事務局(tel 54-5341 fax 54-5345)までご連絡願います。

「議会への手紙」を受け付けております

金山町議会基本条例には、第4条議会の責務において「町民の多様な意見を把握し、政策形成に適切に反映できるよう、町民参加の機会の拡充に努める」こととなっています。

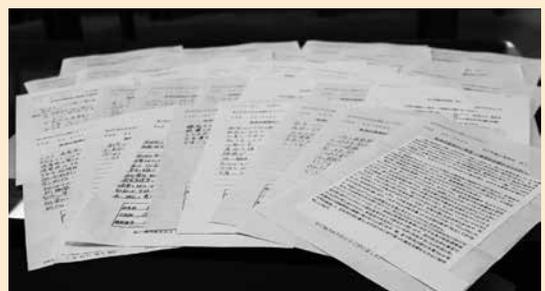
町議会に対する町民の皆様の意見・提言を受け付けています。また、必要に応じて回答いたします。

※特定の個人、団体を誹謗中傷するものは受け付けません。

(郵便)の場合
〒968-0011 金山町大字川口字谷地393
金山町議会議長 宛

(FAX)の場合
0241-54-5345

(電子メール)の場合
gikai@town.kaneyama.fukushima.jp



新型コロナウイルス感染症対策に対する町民からの要望書(令和2年5月)



いま、大切なもの

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、町政の進展に対し格別のご厚情を預かり、深謝申し上げます。本年は午年にごございます。天を駆ける駿馬の如き躍進を期し、諸課題の解決に向け、乾坤一擲の覚悟で邁進する所存です。微力ながら郷土の繁栄に尽力してまいりる所存ですので、何卒、倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますよう伏してお願ひ申し上げます。

ここまでの文章は、Google GeminiというAI(人工知能)が作成しました。コンピュータが人間のような知的活動を行うシステムで、箇条書きである程度文字を打ち込んだり、情報を与えたりすれば、難しい言葉を使った文章も、簡単に作成してくれます。その他調べ物をしたり、イラストや資料を作成したりと、方法を覚えれば多くのことが効率的に行えるようになります。ものごとの答えにたどり着くことが容易になり、調べる、考える、つくるなどの行為に要する時間も大幅に短縮できそうです。全国的に人口減少が進み、多くの業界で人手不足、業務効率化が叫ばれる中で、AIの誕生は革命的ともいえると思います。わたしが生まれたたおよそ30年前にもなかったものなので、幼少期からこれが使える環境にある次世代の人々は、我々の想像できない未来を創造していくだろうなと思えるほどの技術です。

AIやインターネットの発展により、情報が溢れる時代の激流ともいえる現代において、わたしが町の発展にとって大切だと感じているものは「心」です。ここに暮らす人々の心の豊かさの向上こそ、これからの町の発展であると考えます。金山町には、昔ながらの変わらない自然と人の心の温かさが残っており、これは時代が進んでもAIには補えない町の財産です。町を次世代につないでいくために、時代に沿った技術や考えを取り入れた効率化と心ある対話を併せ、町政を皆様とともに前に進めたいと考えています。

(大竹一樹)

令和8年新春交歓会

1月9日、横田の和泉屋で開催され、各行政区長、各団体の代表者、町議会議員など約50名が出席しました。

自治功労者表彰式(3名)のあと、押部源二郎町長、山内長豊議会議員等から年頭のあいさつをいただき、全員による乾杯で新春をお祝いしました。



あいさつする五ノ井議長

ごあんない

次回の定例会は、3月6日頃開会の予定です。
一般質問は3月9日頃となります。
「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井義一
〔編集委員〕 委員長 横田 正敏
副委員長 安藤 雅朗
委員 坂内 一樹
大竹 一樹
次回、金山町議会だより第233号は、5月上旬頃発行の予定です。